

クライストロン1号機インターロック改修 (3) レイアウト

2015年7月17日

東谷 千比呂

回路盤とモジュール内設置時のレイアウトは以下のように製作を進めています。

1) 回路盤

横450mm、縦460mm、厚さ3mmのアルミ板の両面に素子を配置する。表面には通常のリレーを全て配置し、裏面に端子台(TB5901~TB5912)を配置する。回路部と表示部が一体化したメータリレーは盤に穴をあけ、リレー側に表示器、端子台側に回路部がでるように配置する。分離型メータリレーは回路部を裏面に配置する。

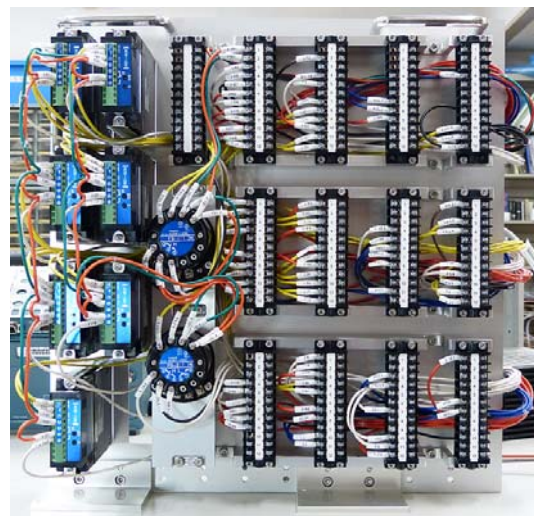
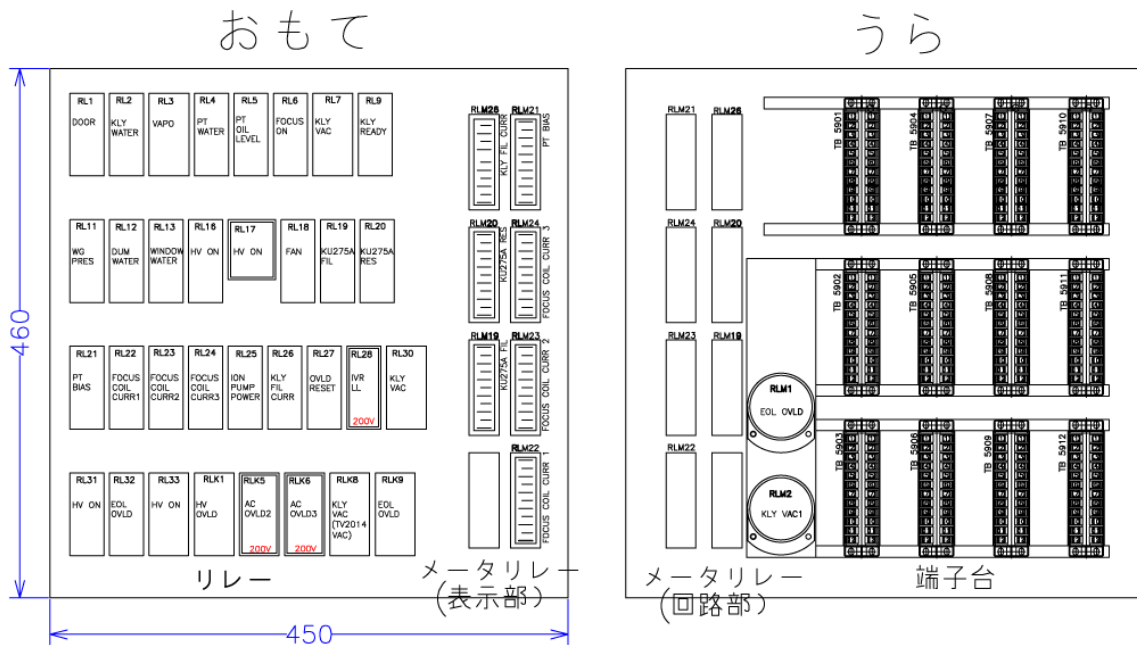


図1 上が設計図、下が製作途中の実物

2) モジュール内

現在、床に置いてあるインターロック盤をキュービクル内に入れる。現在、キュービクル内には安定して盤を置ける構造がないため、手前と奥のフレームにラックマウントをつけてその上に棚板を載せる。盤は2本のレールの上に載せて引き出せるようにする。

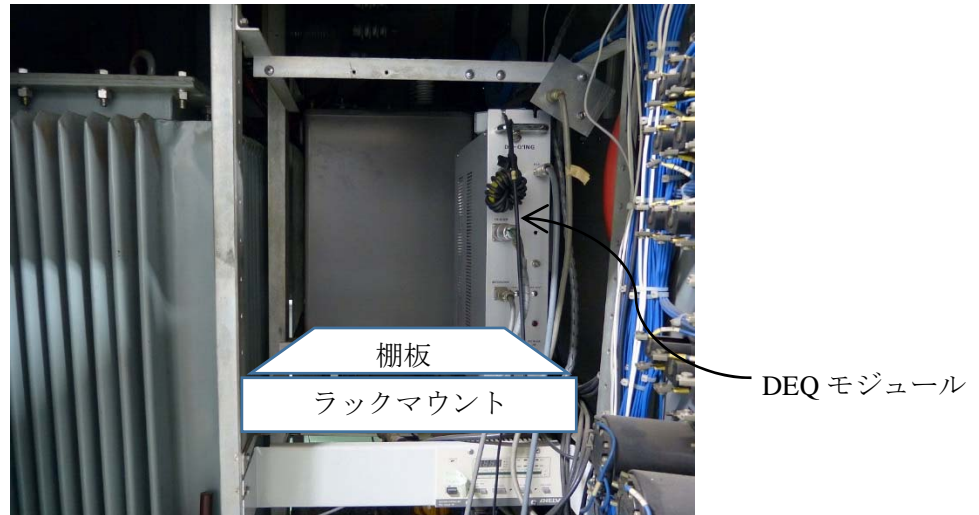


図2 現在のキュービクル内。ラックマウントをフレームに付け、その上に棚板を渡す。
現在不安定な状態で置いてある DEQ モジュールも棚板に載せる。

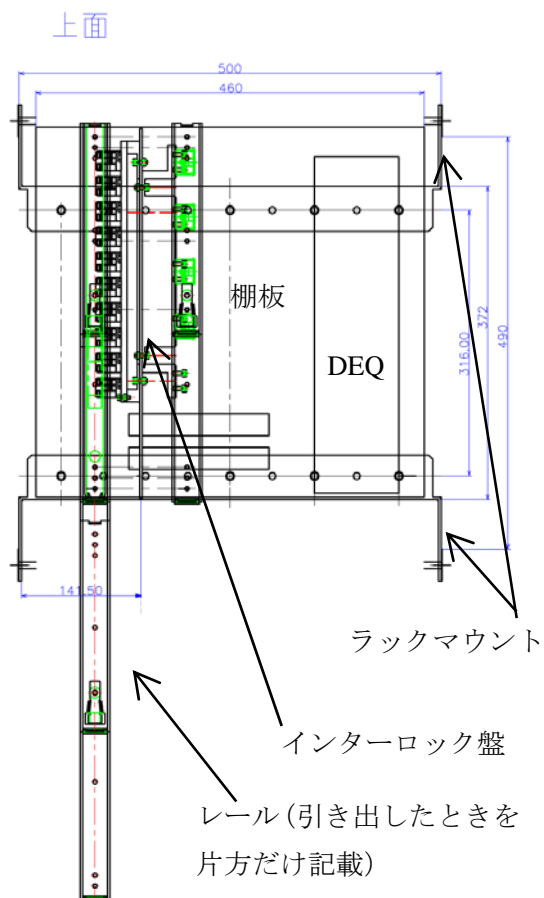


図3 左は棚板の組み上げ図の上面図（使用部品を全て記入している）。右は棚板にレールとジグを取り付けたところ。二つのジグで回路盤を支える。